

福井大学(学部入学定員:855人、大学院入学定員:388人)

[取組学部・研究科等: ○工学部(555人),工学研究科(279人)]

【構想の目的・育成するグローバル人材像】

歴史や文化が異なる地域においても、世界の人々と協働して生き生きとした暮らしづくりに貢献できる高い専門能力と創造力・実践力を有した技術者「Global IMAGINEER」の育成を目的とする。

【構想の概要】

①「実践的グローバル人材育成プログラム」の開発と実施 ②「語学センター」による実践的英語教育の実施 ③国際的通用性を持つ教育課程の実現。この3本柱を核として、工学部・工学研究科を中心に21世紀グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成し、国際的にも通用する質の高い教育の実施を目指す。

■ 教育課程の国際通用性の向上

○ 教育課程の国際通用性の向上のための取組

語学教育カリキュラム改革として、平成25年4月より全工学部新入生に対し、英語の授業を週1回から週2回の実施とすることを決定した。また、学期当初に全工学部新入生に対してTOEIC及び語彙テストを行い、習熟度別クラス編成を行うとともに、1クラス25人程度の少人数教育を実施している。

○ 戦略的な国内外への教育情報の発信

大学のグローバル化促進のため、専用ホームページを作成し、必要な教育情報の公表及び多言語化を進め、戦略的な国内外への発信を行うことが決定された。

○ 事務体制のグローバル化

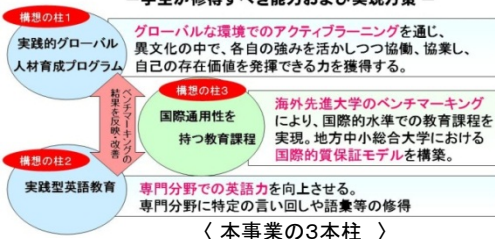
国際戦略の推進のため、専門性を備えたコーディネーター及び語学能力の高いスタッフ複数名を採用し、海外研修やイベントの実施、改善に高度な専門知識を提供している。



〈実践的な海外研修プログラムを整備・拡充〉

■ グローバル人材として求められる能力の育成

— 学生が修得すべき能力および実現方策 —



○ 実践的グローバル人材育成プログラム

米国、カナダ、オーストラリア、中国、タイ及びマレーシアの大学において、語学研修型、文化体験・フィールドワーク型、専門・研究型など11の海外派遣プログラムを実施し、学生延べ128人が参加した。また、プログラムの拡充・新設に向けた協議を行い、平成25年度はプログラム数、派遣人数とも前年度を上回る計画となっている。

○ 実践的英語教育

工学部及び工学研究科における「技術英語」「科学英語コミュニケーション」「科学英語表現」を、従来の教員に加えてTESOL等を専門とした語学インストラクターが担当することで、より実践的な英語専門教育を実現している。

○ 国際通用性を持つ教育課程

地方中小総合大学における国際的質保証モデル構築に向け、教職員を米国や中国に派遣し、先進大学等において、グローバル人材育成の観点から教育評価システムや地域連携等に関するベンチマーキングを行った。

■ 語学力を向上させるための入学時から卒業時までの一体的な取組

○ 入試における中等教育段階までの外国語力・留学経験等の適切な評価

TOEFL等のスコアの入試への活用や、入学志願者の留学経験等の適切な評価については、平成25年度以降、実際に導入している大学を調査し先行事例を研究するとともに、活用することによって生じる利点や課題などを整理し、全学的な視点で検討する。

○ 効果的な語学教育及び教育体制

語学センターにおいて、現在のEFL研究の知見を基に独自の英語プログラム開発を進めており、平成25年度からは工学部1年次生を対象とした少人数・習熟度別クラス分けを開始するなど、統一的、総合的で実践的な英語教育(共通教育)を実施している。

■ 教員のグローバル教育力の向上

○ 教育体制のグローバル化

語学センターで、ESL/EFLの資格を有する英語ネイティブの外国人教員や海外大学で学位を取得した日本人教員を多数採用し、英語教育改革を進めている。語学センターのグローバルな教育体制によって大学全体のグローバル化にも貢献している。

○ グローバル教育力向上のための取組

海外短期研修を新規に追加して実施し、多数の学生を海外に派遣するとともに、引率として教職員を派遣することにより、グローバルな視点をさらに育成し、国際通用性のある教育課程へ反映させている。

■ 日本人学生の留学を促進するための環境整備

○ 動機付けや留学を促進するための取組

海外留学の動機づけ、基礎情報の提供、スケジュール・目標管理及び成果測定の一助となるよう「海外留学ロードマップ(福井大学)」を作成し、平成25年度全入学生をはじめ在学生、教員にも広く配布した。また、「グローバル化の展開と人材育成」をテーマとするキックオフセミナーの開催や海外派遣プログラム参加学生約100人を対象とした事前研修講演も行った。

○ 留学中から帰国後にわたるサポート体制

海外研修参加学生に対する危機管理関連の情報提供や24時間対応可能なサポート体制を構築するなど、安全管理策の充実を図った。また、帰国後の事後オリエンテーションを実施し、学生が留学経験を有効活用できるよう支援体制の整備を行った。

卒業・修了時に学生が修得すべき具体的能力

産業界が求める、国際的な事業で活躍できる英語力に基づき、卒業時に修得すべき外国語力スタンダードをTOEIC750点またはTOEFL PBT550点と設定する。英語力に加えて、東アジアまたは東南アジア1カ国の言語において初級程度の到達を目指す。また、グローバル社会において高度専門職業人として活躍できる優れた人材育成を目的として、学生の卒業・修了時には、①創造力、②自己学習力、③問題解決能力、④教養・専門的知識、⑤コミュニケーション能力の修得を目指す。

本構想において実現する達成目標及び実績

全 学		達成実績		達成目標			
		2011	2012	2013	2014	2015	2016
外国語力スタンダードを満たす学生数				7人	12人	25人	50人
うち海外留学未経験者数 (A)				5人	8人	18人	25人
海外留学経験者数 (B)		16人	33人	31人	42人	53人	60人
卒業[予定]者数 (C)		555人	556人	555人	555人	555人	555人
比率 ((A+B)/C)				6.5%	9.0%	12.8%	15.3%
工 学 部	卒業時の外国語力スタンダード	TOEIC750またはTOEFL PBT 550		7人(5)	12人(8)	25人(18)	50人(25)
	海外留学経験者数	16人	33人	31人	42人	53人	60人
	3 カ 月 未 満	16人	33人	30人	40人	50人	55人
	3 カ 月 ~ 1 年	0人	0人	1人	2人	3人	5人
	1 年 超	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	卒業[予定]者数	555人	556人	555人	555人	555人	555人

※1) 学部数が多く、本表が1頁以内に収まらない場合は、「海外留学経験者数」の期間別内訳を省略してもかまわない。

※2) 「外国語力スタンダードを満たす学生数」の学部ごとの記入欄の()内は、外国語力スタンダードを満たす学生数のうち「単位取得を伴う海外留学未経験」の学生数を示す。

※3) 上記の「海外留学経験者数」は、いずれも単位取得を伴う海外留学経験者数であり、単位取得を伴わない海外留学経験者は含まない。